

調査内容

I	調査地	宮城県角田市 (人口30,491人 面積 147.58平方km H25.9.1現在)
	調査月日	平成25年11月13日(水)
	調査事件	インターネット配信について
	概要	<p>(1) 導入に至るまでの経過について 平成15年2月定例会から庁内における議会ライブ中継配信を開始した。市民にもアピールするため、平成24年9月から一般市民向け議会ライブ中継配信を始めた。</p> <p>(2) 導入に当たっての経費について</p> <p>① 初期設置費用：199,500円(9つの自治センターで、パソコンからつなぐセットアップ設備の費用)</p> <p>② 年間維持費：(18,818,100円+6,300,000円)÷5=5,023,620円 ・角田市議会中継システム賃貸借契約(5年後無償譲渡) 月額313,635円(税込)5年間総額18,818,100円(税込) (議場内のシステムを構築するため、議場中央制御装置、マイク、スピーカー、アンプ、カメラ等) ・角田市議会インターネット映像配信業務委託契約 月額105,000円(税込)5年間総額6,300,000円(税込)</p> <p>(3) 中継の方式について インターネットによるライブ中継。録画配信はしていない。中継を行う市議会の会議は、本会議及び議場で開かれる委員会のみ。ただし、秘密会は中継をしない。公共施設では、角田市役所内市民ホール及び各自治センターで中継をしている。</p> <p>(4) アクセス件数について 平均、一日当たり約15名～20名</p> <p>(5) 職員の仕事量について 「これまでとあまり変わらない」と報告されているが、議場での手動による発言者へのカメラ操作は、職員の俊敏さと継続した緊張感が要求されていると感じた。さらに「録画配信した場合は、かなり仕事量が増える」と他市町からの情報を得ている。</p> <p>(6) 問題点、課題について</p> <p>① 中継システムは5年後無償譲渡となっているが、カメラやモニターは使用可能でも、パソコンの対応年数は5年が一区切りと考え、5年ごとの見直し(予算措置)が必要と思われる。</p>

		<p>② 無償譲渡後(5年後)は保守点検業務委託料が必要になると思われる。</p> <p>③ 会議のない月でも、システム構築の賃借料とライブ配信料がかかる。本会議の1時間当たりの視聴者が10名前後であり、この数字をどう見るか。せっきく導入したシステムなのでPRの必要があると感じている。</p>
	<p>委員会の まとめ</p>	<p>角田市議会では、ライブ中継について議員から意見が高まったことに加えて、インターネット環境が整うタイミングが重なり、インターネット配信が実現した。</p> <p>しかし、一方では、期待していたほどの視聴者数が伸びないなど、費用対効果の観点からは課題も残っている。</p> <p>岩沼市議会では、インターネット中継について、委員間でも様々な意見（早期導入すべき、費用対効果を考えれば更なる調査研究が必要、復興完了後に検討すべき等）があるが、今後検討を進める場合には、初期導入及び継続的な費用をしっかりと把握し、費用負担の少ない配信方式も検討するなどとした上で、議会全体として慎重に合意形成を図るべきと考える。</p>